



木曾菜漬けをいただきました

と言われ、おしめが濡れて泣くのかお腹がすいて泣くのかわからず困りました。
食料の苦しい時、大きな農家でもあまり良いものを食べられないようでした。
やがて私は高等科に進み、そのころは戦争も益々きびしくなってきました。長くなりましたので続きは次回にします。

私は岐阜県の恵那から少し山に入ったところで生まれました。八人兄妹で今は弟と私と二人だけになってしまいました。
生まれた家は農家で、田んぼと畑、それに蚕を飼っていて、家族みんなで桑の葉を採りに行ったことを思い出します。夜遅くに起こされ、昼間に採ってきた桑の葉を蚕にやり大変な思いをしました。
木曾ほどではないですが、冬になると雪も少しは降った

ふるさとの思い出

S · I



家族から白寿のお祝い

と思います。お正月にはお手玉や家の中でマリつきをして遊びました。
年が明けると紅白のきれいな花餅やまゆ玉を作りました。今では蚕を飼っているところはほとんどなくなりましたが、木曾寮では今でもまゆ玉を作りますので懐かしく思います。
春の節句の頃には、母が富士山の形をした「からすみ」を作ってくれました。
近所の家におひな様を見せてもらいに行くと、どの家でもからすみを二切れくれて、それが楽しみで何軒もの家をまわりました。
木曾ではほう葉巻きが有名ですが、恵那のほうではかしわ餅を食べていました。
秋に新米が獲れると、囲炉裏端で五平餅を焼いて食べました。我家の五平は、つぶしたご飯を棒に巻いたまるで竹輪のような形をしています。いろんなところの五平を食べましたが、我家の味が一番です。



お誕生日おめでとう



中学生の福祉体験